

記者発表資料

**「R3国道16号境川高架橋舗装修繕工事」において
「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」「間接工事費実績変更方式」
「見積活用方式」「余裕期間制度（フレックス）」を試行します。
併せて「難工事指定」を採用します。**

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R3国道16号境川高架橋舗装修繕工事」は、以下の（１）（２）（３）（４）を試行、（５）を採用します。

（１）「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

（２）「間接工事費実績変更方式」

安全費において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

（３）「見積活用方式」

本工事は、現道上での制限された作業ヤード内での施工となる工事のため、作業効率が低下することが懸念されます。このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

（４）「余裕期間制度（フレックス）」

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定する制度です。

（５）「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする「難工事指定」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会
都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、八王子記者クラブ
立川市政記者クラブ、青梅・西多摩記者クラブ、相模原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所
TEL : 042-643-2001(代)
ちば なおし はざわ えいいち
副所長 千葉 直志 管理第二課長 羽澤 栄市

《 工事概要 》

- (1) 工 事 名： R3国道 16号境川高架橋舗装修繕工事
- (2) 工事場所： 国道16号 神奈川県大和市下鶴間地先
- (3) 工 期： 契約締結の翌日から令和4年3月31日まで（フレックス方式）
- (4) 入札方式： 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別： アスファルト舗装工事（A等級）
- (6) 工事内容： 本工事は、国道16号境川高架橋における道路橋の舗装修繕工事を行うものである。

工事数量

- ・舗装工 約3,400m²
- ・区画線工 約2,100m
- ・橋梁附属物工 1式

《「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」について》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《「間接工事費実績変更方式」について》

○実績により変更を行う工種

- ・共通仮設費（率分）のうち、「安全費」

○実績により変更を行う理由

本工事の施工箇所は、交通量の多い市街地における橋梁上の箇所です。

そのため、周辺交通や横断歩行者の安全を確保しながら施工しなければならず、「安全費」について標準歩掛と乖離が想定されます。

以上の点より、間接工事費実績変更方式の対象項目として「安全費」を対象とします。

《「見積活用方式」について》

本工事は、現道上での制限された作業ヤード内での施工となる工事のため、作業効率が低下することが懸念されます。このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

○見積の提出を求める工種

- ・「伸縮継手工」の「鋼・ゴム製伸縮装置補修」

《「余裕期間制度（フレックス）」について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和4年3月31日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者の配置が不要となります。

《「難工事指定」について》

本工事は、現道上での制限された作業ヤード内での施工となる工事のため、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《 スケジュール 》

○入札公示、入札説明書 交付	： 令和3年 8月 4日（水）
○技術資料等 提出期限	： 令和3年 8月25日（水）
○入札書・工事費内訳書 提出期限	： 令和3年 9月13日（月）
○開札日	： 令和3年 9月15日（水）

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示
(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上